

東海道新幹線新駅対策特別委員会会議録

令和2年12月7日

寒川町議会

出席委員 岸本委員長、小泉副委員長

中川委員、柳下委員、山田委員、天利委員、吉田委員、黒沢委員

関口議長

説明者 廣田拠点づくり部長、皆川倉見拠点づくり課長、川部主査、小宮主査

案 件

1. 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について
(拠点づくり部倉見拠点づくり課)
2. その他

午前9時00分 開会

【岸本委員長】 皆様、おはようございます。本日より特別委員会の審議となりますので、皆様、よろしくお願い申し上げます。

それでは、ただいまより東海道新幹線新駅対策特別委員会を開会いたします。

本日我々に示された案件は、その他を含め2件でございます。

それでは、執行部が入室するまで暫時休憩いたします。

【岸本委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

案件1、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について説明を求めます。

廣田拠点づくり部長。

【廣田拠点づくり部長】 おはようございます。拠点づくり部倉見拠点づくり課より事務経過についてご報告させていただきます。報告につきましては、皆川課長より行いますので、よろしくお願いいたします。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 おはようございます。それでは、前回9月7日の特別委員会以降の経過等につきましてご報告させていただきます。経過については、タブレット01新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてに基づきご報告させていただき、ご報告の中での資料のページ番号については、タブレット資料のページ番号でご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずは、10月9日でございます。次世代層との意見交換会、こちらの名称については仮称でございますが、倉見地域集会所で開催しております。これは、日頃、地元説明に際しては、私どもとしては主に地権者の方々を中心にお集まりいただくことが多いため、ご高齢の方に向けた情報共有する機会が多いのですが、この事業は将来の土地利用について長期にわたる議論が必要と考えております。定期的にご家庭にもニュースなどをお届けしておりますが、ご家庭を含め将来の中心世代、責任世代の担い手となる方々にメッセージを発信し、今後定めていくツインシティ倉見地区の将来像の検討に必要な情報を共有し、幅広くご意見を伺える環境づくりのためにも直接の対話の機会を設けるべきと考え、過去にもお

示しておりますまちづくりにおける短中長期の取組スケジュール案にも、次世代層の掘り起こしと位置づけておりますことから今回実施してございます。

コロナ禍において、多くの方をお呼びしての会合はなかなか実施できませんので、当日は過去に連絡協議会の幹事をお務めいただいた方や地域にお住まいの方で事業を営んでいる方など、主に40代4名の方とまちづくりやそのスケジュール、周辺の道路ネットワークについてお伝えし、ざっくばらんな意見交換をさせていただいてございます。

今後ご参加いただいた方々や地域の皆さんにお知り合いをご紹介していただくなど、裾野を広げながら継続していきたいと考えてございます。

続きまして、10月21日には、倉見商店会の定例会合にお邪魔し、役員の方々と意見交換を行いました。こちらも倉見地域集会所でございます。現在地元組織である連絡協議会としましては、新型コロナウイルス感染拡大状況から幹事会が開催できない状況であります。日頃、地域に顔を出させていただいてる中で、倉見商店会会長のご厚意により、定例会合に合わせて町の意見交換の場を設けさせていただき実施したものでございます。当日は、倉見大神線の進捗状況について心配する声もありましたが、古くから経過をご存じの方からは、地元組織の新体制に期待しているとお声も頂戴しております。

続きまして、10月27日でございます。神奈川県、平塚市、寒川町の3者で構成するツインシティ整備調整協議会が平塚市役所で開催されました。県の寒川駐在事務所より、今年度の事業実施状況や新年度予算確保のための事業予定について説明がありました。今年度については、当初8月までとしていたイベント等の県の自粛方針が来年3月まで延長され、人を集めてのイベントの多くは中止が決定されております。また、年明けに予定している講演会についても、オンラインに変更できないかなど、実施に向けた手法が検討されておりますが、例年行っております普及啓発事業は、当初の想定以上に実施を見送っている状況等が報告されました。

続きまして、11月5日でございます。期成同盟会によるJR東海への要望活動が実施されました。例年は同盟会総会直後に実施されておりますものですが、これも新型コロナウイルス感染拡大状況で見合せとなっていたものがここで実施されたものでございます。当日の出席者については、3ページに資料をおつけしております。東海旅客鉄道株式会社からは巢山副社長をはじめ4名の方、同盟会からは、人数を絞り神奈川県の小板橋副知事をはじめ5名で、木村町長が同席しております。当日のやり取りについては、非公開となっており、県からはまだ詳細は伝えられておりませんが、木村町長からは、昨年実施した担当レベルでのJRとの技術相談については、引き続き応じてほしい旨の発言をしていただいております。

いずれにしても、この状況下で要望を受ける機会を持ていただいたことについては、町としても好意的に受け止めているところでございます。

記載については以上でございますが、この間連絡協議会の事務局である当課の担当では、21ブロックの幹事を対象に個別、あるいは小グループで情報交換を続けており、コロナ禍においては、小当たりでの対応ではありますが、会合全体ではなかなか発言のなかったグループの代表者の方との対話や各ブロックの開催状況、運営事情などいろいろな情報を聞き、こういった状況だからこそできた機会だと捉え、今後の円滑な組織運営のお手伝いができるよう、引き続き継続してまいりたいと考えております。

なお、例年この時期にお示ししておりました新年度の同盟会予算案に関する資料については、これもコロナ禍の状況におきまして同盟会の幹事会が開催されておらず、まだ資料が届いておりません。改めて次の機会でお示しさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

【岸本委員長】 説明が終わりました。質疑のある方は挙手にてお願いいたします。

山田委員。

【山田委員】 それでは、10月9日の次世代層との意見交換会とありましたけど、これに関してどのような意見が出たのかをお願いします。

【岸本委員長】 川部主査。

【川部主査】 町では、今まで地権者を対象にすることが多く、普段説明会等に見られない働き盛りの方や地元で事業を営んでいる方に今回来ていただきました。町からは、今まで経過や周辺道路ネットワークやまちづくりの状況についてお話をさせていただきましたが、皆さんに好意的に受け止めていただきました。今後は、今回の参加者からさらにご紹介いただきながら、子育て世代や地域で活躍されている中堅層などに広がっていきやすいようにしていきたいと考えております。

以上です。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 意見ということなんですけども、4名の方に出席していただいた中で、特に出席していただいた方の中で、ツインシティ橋にかかる地権者の方がおりましたので、この方につきましては、もっと具体的に地元の方に示すべきではないかということで、まちづくりとは切り離して、倉見大神線の周辺の方々にはもう少し情報をいただくようにという話がありました。また、あと事業をされている方からは、周辺の道路ネットワークが整備されることによって、周辺に行くことが便利になるということで期待されていることと、あと24ヘクタールにお住まいの方もいらっしゃるしまして、その方については、具体的に整備されると我が家がどうなるのだろうという心配の声もございました。

以上です。

【岸本委員長】 他にございますでしょうか。

柳下委員。

【柳下委員】 同じく意見交換会でどんな意見が出たかということをお聞きしたかったのですが、概要は分かりました。それで今おっしゃられたように、今までの情報を4名の方にお示しして、それで今おっしゃってくださった整備されたらどうなるだろうと、やっぱり自分の身近なご近所とかがどうなるかと大変関心を持っていると思います。それに対して町はどのような回答をなさったのでしょうか。どのような資料を基にそれを皆さんに説明したのかお知らせいただけますか。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 説明の内容につきましては、今まで地元の方々に示してきたようなツインシティ全体の整備を目指す道路ネットワークだとか、あとは周辺のまちづくりについてのお示ししているもの、これも以前委員会にもお示ししているものがございます。そういったものを使わせていただいて説明してございます。道路の整備について皆さんの質問に対して私どもから長期にわたる事

業ですという断りを入れさせていただきながら、神奈川県との連携を取りながら今後整理していきますという説明に終始しているものがございます。

以上です。

【岸本委員長】 柳下委員。

【柳下委員】 つまり今まで町が周知してきた内容と同じものを意見交換会では町は出したと、それ以上のものはこのときにはなかったということであれば、皆さんに本当にちゃんと情報が届いて、自分たちの地域のこととして関心を持って取り組んでくださることが、意見交換会にとっても大事なことだと思うんですけども、ただ単に説明ではなく、関心を持って意見をこちら側は聞きたいという姿勢でもっと工夫はないんでしょうかね。4名で時間帯とか、いろいろこれから変えていったとか、40代を50代に増やしているとか、多くの方が参加して、そうした方のご意見をいただくようなことは、どのような方法があるとお考えになっていらっしゃいますでしょうか。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 まず人数としましては、お声かけをさせていただいた中でお集まりいただけたのが4名ということで、もっと広げたい部分はあるんですが、まだこういった状況で、なかなか大勢で集まっていられないという状況もありますので、これは致し方ないなと思ってございます。それと関心をもっと寄せて取り組むべきだというお話もございますが、本来先ほどご説明させていただいたように、今まで地権者さんを対象に皆さんにお集まりいただくと、どうしても高齢の方が集まってしまいます。できればご家族、あるいはお子さんの世代で出席いただけないかというのも、日頃、地権者の方にもお話ししているんですが、お仕事をだったりとか、外にお勤めに行っていたりという形で、なかなかお集まりしていただく機会がなかったというところで、今回は地権者ではないご家族、あるいは今後中心になっていくであろう世代の方々にお声かけして、集まっていたいた、当然今情報が、今回お話しさせていただいた中では、そういった方々にはなかなかこういった情報が伝わっていないんだなというところがございます、お話しをするたびに、なるほどと、今まで知らなかったという話が少々ございました。今回世代の意見交換会をさせていただいたのは、そういった世代にもいろんな情報を発信していくべきものということでお話を聞いていただいて、それを今後我々はそういった方々のネットワークをご協力いただきながら新たに広く皆さんに周知させていただく、あるいはそういった方々にもっと情報を知っていただいて、今後我々が提案すべき内容について、それがいいのか悪いのかという判断をしていただくための準備段階と考えていますので、これはまだ緒についた状況と考えておりますので、今後続けていく中でそういった話合いが、議論ができる状況を構築していきたいと考えてございます。

以上です。

【岸本委員長】 柳下委員。

【柳下委員】 現状がよく分かりました。それで、おっしゃったように、次世代の人たちがまちづくりに関わるということはとても必要なことだと思います。今回の試みはその第一歩ということです。それで、町が何を聞きたいのか、ただ単に情報を伝達するじゃなくて、彼らから何を聞きたいのか、的を絞った意見交換会であれば、町にとって有益な意見交換会になるかと思いますが、町としてこの世代に

何を発信するのが一番大事なことだとお考えになっていらっしゃるのでしょうか。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 今の段階では、まだ町の将来像として確固たるもの、一応ツインシティ倉見まちづくり整備基本計画の中では、一定の方向性は示させておりますけども、地元の方々が将来どのようなツインシティ倉見地区にしていきたいのかというのを聞くためにも、様々な町からのご説明に対してどういった反応を示しているのか、それからまた、どんな生活を希望していくのかということをお聞きするために、今の段階では幅広くお聞きさせていただくことになります。ある程度絞られてきた中で、町から核となる質問を投げかけていって、作り上げていくような形で進めるべきかなとは思っております。

以上です。

【岸本委員長】 他に意見はございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【岸本委員長】 それでは、質問もないようなので、案件1を締めさせていただきたいと思います。ご苦労さまでございました。

暫時休憩いたします。

【岸本委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは、案件その2、その他に入りますが、何かございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【岸本委員長】 それでは、ないようなので、案件2も締めさせていただきます。

それでは、本日示された案件2つが終わりましたので、最後副委員長、締めの挨拶をお願いいたします。

【小泉副委員長】 それでは、皆様、朝からお疲れさまでございました。

これにて東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了とさせていただきます。ご苦労さまでした。

午前9時18分 閉会

寒川町議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

令和3年2月24日

委員長 岸 本 優